

令和元年度 第2次評価対象事業

部	課	評価事業	決算額 (千円)	事業目的等	所管課が課題と考える内容	評価	評価の視点
総務部	行政管理課	庄原市出前トーク	10	市民等が構成する団体からの要請に基づき、市職員を派遣し、専門知識を生かした説明、懇談等を行う。(106メニュー)	広報紙により周知を行っているが、利用は地域によって大きなばらつきがあり、庄原地域以外では利用が少ない。	現行どおり	・年間の利用回数やアンケートによる、満足度や市民ニーズ確認。 ・定期実施団体(リピーター)の数。
生活福祉部	高齢者福祉課	庄原市高齢者世帯雪下ろし支援補助金	0	高齢者世帯の雪下ろしに対する支援として、予算の範囲内で補助金を交付し、高齢者の降雪期における在宅での安心な生活を確保し、その福祉の増進を図る。	雪下ろしの費用が値上がり傾向にあること、本事業を必要とする高齢者の増加が考えられることから、事業継続にあたっては料金や対象者等の実態把握が必要。	現行どおり	現行要綱は令和元年に失効することとしているが、今後も必要性が高いと考える。このため、令和2年度以降も継続することについて意見を求める。
生活福祉部	保健医療課	歯周病検診事業	1,127	40歳又は60歳を対象に市内医療機関において、歯周病検診を実施する。	現行では、40歳と60歳を節目として検診を実施しているが、今後の健康づくり・疾病予防のためには、実施年齢を拡大し啓発機会を増やすことが必要。	拡充して実施	本市の受診率は、19.1%(H29)であり、県内実施の21市町で最も高かった。受診者の動向把握ができたため、対象年齢を加えて実施することについて意見を求める。
企画振興部	いちばんづくり課	庄原グローバル・協賛会負担金	1,541	ドローン(無人航空機)の積極的な利活用を推進するとともに、新しい産業の発展と起業につなげるための活動を行う。	民間主導で取り組みが進んでいる分野(ドローンスクールなど)と競合しない配慮が必要。	現行どおり	技術を活用した市内産業の発展をめざし、H31.2月に設立。今後、趣旨に基づき、活用策を検討、実効性のある取り組みにつなげていく必要がある。
企画振興部	観光振興課	庄原市ふるさと応援団事業	1,639	本市の発展を応援する輪を全国に広げ、交流・連携を通じてにぎわいと活力あるまちづくりを推進する。	ふるさと納税や、特産品等の販売促進、定住促進などと連携した効果的・効率的な事業運営と応援団員数の拡大。	拡充して実施	ふるさと応援団員数が伸び悩んでおり、現時点で成果が見えにくい。が、本市の人口減少が進む中で、関係人口を拡大することが地域活性化につながると考えている。
環境建設部	環境政策課	飲料水供給施設整備費補助金	12,712	飲用水が不足する地域の住宅及び集会施設に対し、飲用水の供給を目的として整備し、生活環境の改善を図る。	飲用井戸の検査は厚生労働省が定める水質基準項目の内、一部項目の適合のみが求められるだけとなっている。本市としても何らかの対策が必要と感じている。	拡充して実施	本制度は困窮者に対する生活支援を目的とするものであり、必要性の高い事業であると考えられる。